


▼INDEX▼

■【会計監査人監査情報】
・令和3年度期末監査について
■【監事監査情報】
・「令和4年度監事監査計画」について
■【監査ニュース】
・オンライン議会　地方先行　16 都府県・102 市区町村
国会、なお検討段階　コロナ禍世界では加速　【4/3 日本経済新聞】 外 8 件
■【連載企画】
・魁！！P 塾「競争的資金及び標準会計監査の監査報告」編
■【お知らせ】
・監査室体制変更のお知らせ
■【Audit Cafe】
・断捨離をしてみた

表題写真：広瀬川の鯉のぼり

## 会 計 監 査 人 監 査 情 報

### ・令和3年度期末監査について

本学の会計監査人である『有限責任監査法人トーマツ』による会計監査人監査について、期中監査の監査対象部局の皆様には、監査資料の準備をはじめ、オンラインでのヒアリング対応等、お忙しい中ご協力いただきましてありがとうございました。

現在、期末監査の時期を迎えており、令和4年3月18日付で実施について通知したところです。監査内容及び準備資料の詳細については順次ご連絡しております。中期計画最終年度ということで決算報告が例年よりも1ヵ月程度前倒しとなっており、イレギュラーなスケジュールの中ご対応をお願いしているところではありますが、期末監査の完了まで引き続きご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

【会計監査人監査】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/3-3index.html（概要）



## 監事監査情報

### ・「令和4年度監事監査計画」について

監事監査は、本学監事監査規程で定める「本学の業務運営状況、業務執行状況及び会計処理状況の実態を把握し、関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査することにより、本学の業務の適切かつ効率的な運営を確保すること」を目的とし、実施するものです。
（監事監査実施の具体的な内容については、令和2年6月23日発行のおうでぃっとめーるにおいても説明しておりますので、ご参照ください。）

「令和4年度監事監査計画書」は、4月12日に総長に提出し、5月10日の経営企画会議及び5月17日の部局長連絡会議で報告しております。

第3期中期目標・中期計画期間（平成28年～令和3年）が終了し、令和4年度は新たに策定した第4期中期目標・中期計画期間の1年目です。第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱内では、第4期中期目標期間においては、国立の高等教育機関としての基本的な役割の更なる充実・高度化を図るだけでなく、国からの負託に留まらず、自らのステークホルダーとしての社会からの期待に応えていくため、自律的な経営体として発展しながら、新たな社会に向けた挑戦を先導することにより、国立大学法人が社会からの更なる信頼を獲得し、投資を呼び込む好循環を構築することで、社会変革の駆動力として成長し続ける経営体に転換することが期待されています。

第4期中期目標期間では国立大学法人法の改正によって年度評価が廃止されており、監事監査の重要性が増しています。令和4年度は、上記の状況及びこれまでに公表されている通知等を参考に、本学の業務執行状況について、より適切・的確な監事監査を実施することとして、以下の監査事項及び重点事項としました。

（1）業務全般

| | 重点事項 |
|---|---|
| ① | 第4期中期目標・中期計画の実施状況等について |
| ② | 内部統制システムの運用状況について |
| ③ | 公的研究費の不正使用防止及び研究活動における不正行為防止に対する対応状況について |
| ④ | 監事監査における監事意見への対応状況のフォローアップについて |
| ⑤ | その他 |

①②の重点事項は、国立大学法人法施行規則及び国立大学法人等監事協議会「監事監査に関する指針」に基づき、本学での実施、運用状況について監査します。
③の重点事項は、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査ガイドライン」及び「研究活動おける不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づき、本学での対応状況について監査します。
④の重点事項は、従前の監事監査に対するフォローアップを行い、監事監査の有効性の確保を目的としています。

このほか、出資事業（東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社）及び病院の運営状況等については、重点事項としていませんが、通常の業務の中で監査することとしております。
具体的な実施時期については、各監査項目に関連する本学の運営状況及び検討状況等を勘案し、効果的な監査となるよう、通年の中で実施します。

（2）決算監査
決算監査は、本学が作成した貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類その他文部科学省令で定める書類及びこれらの附属明細書、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査することとしております。
決算監査は、令和4年度決算終了後の令和5年6月に実施します。

監査を実施する際には、質問事項を作成してお願いすることとしております。
みなさまのご協力をお願いいたします。

【監事監査計画書】の詳細は、コチラ↓
……
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html
……

## 監 査 ニ ュ ー ス

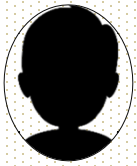
・オンライン議会　地方先行　16 都府県・102 市区町村
国会、なお検討段階　コロナ禍世界では加速 【4/3 日本経済新聞】
・東北大　DEI 推進宣言　工学研究科教授　女性 5 人を公募
男女共同参画、多様性を尊重 【4/6 河北新報】
・東京理科大、協創強化　産学連携機構設立　共同研究費 3 倍に
VB 数も大幅増 【4/7 日刊工業新聞】
・行員半分デジタル人材　七十七銀　1310 人、25 年 3 月までに 【4/9 日本経済新聞】
・学芸大准教授　アカハラで処分 【4/16 読売新聞】
・私大、1/4 が慢性赤字　先端教育投資に足かせ　日経集計
定員割れも 4 割、再編急務 【4/18 日本経済新聞】
・女性活躍「行動計画」義務化　迫られる働き方改革
都、職場環境整備を助成 【4/22 日刊工業新聞】
・北大、改ざん疑いで論文取り下げ 【4/29 毎日新聞】
・同僚にセクハラ　男性職員を解雇　山形大附属病院 【4/29 河北新報】



連載企画




大学の中で行き場のなくなった不良職員たちを集め、過激なスパルタ教育を施すＰ塾。
不良職員たちを更生させるため、毎回、Ｐ塾長が大学業務の真髄を叩き込む。
第１８回となる今回は、「競争的資金及び標準会計監査の監査報告」についてです。



Ｐ塾長

元気ですかー！元気があれば監査もできる。今回は、「競争的資金及び標準会計監査の監査報告」について、解説を行うこととする！いくぞー！

令和3年度の競争的資金及び標準会計監査は令和3年9月から令和4年1月にかけて実施し、監査結果については、令和4年4月19日の部局長連絡会議で報告の後、同日付けで、監査対象部局に監査報告書をお送りしました。今回は、当該監査で改善事項として検出された事案について、解説をしていきたいと思います。

**＜検出事項＞**

科研費で雇用されている限定正職員を当該科研費以外の業務にも従事させていた。

科研費等の外部資金で雇用した職員は本来、当該雇用経費に係る業務に従事させなければならず、それ以外の業務に従事することはできないが、当該案件は、雇用経費である科研費の業務に従事させた他に、雇用経費以外の科研費、同研究室の他の研究者の科研費及び大学運営資金に係る業務にも従事させていたものである。

科研費の直接経費のみを財源として雇用している技術補佐員の方は、その課題に係る業務にのみ従事することになります。研究室内の全般的な事務作業を同時期に行ってもらうためには、その業務に従事可能な

経費（大学運営資金など）を雇用財源としてエフォート管理を行う必要があります（※）。

また、初めから研究室内の全般的な事務作業に従事させることを目的として非常勤職員を雇用する場合（いわゆる研究室の秘書さん）は、科研費の直接経費では雇用できないことに注意が必要です。

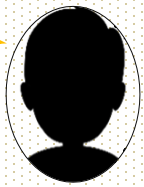
**◆科研費の使用ルール**
**・事務補佐員の雇用は、原則不可。**

（経費執行ハンドブック（東北大学令和２年 10 月改訂版）より抜粋）

**問　事務職員（非常勤職員）についても事務補佐員として科研費の直接経費で雇用していいのでしょうか。**
**答　原則、雇用することはできません。**
**ただし、例外として、「新学術領域研究の総括組織（総括班又は国際活動支援班）」では、補助目的が研究領域の全体的な研究方針の策定、企画調整、研究支援活動（研究領域内で共用する設備・装置の購入・開発・運用、実験試料・資材の提供など）等を行うことにしているため、当該課題の遂行のための事務業務に従事するために事務職員を雇用しても直接経費の説明責任を果たせるものと考えていますので、具体の事例が生じました所属の部局等事務部にご相談ください。**

（科学研究費助成事業の各種手続きに係る FAQ（研究推進部研究推進課令和２年 10 月版）より抜粋）

なお、事務方においても、旅費業務システムや購買業務システムの入力者と入力内容が、雇用経費と矛盾していないかを定期的に確認することなどにより、検出事項のような不適切な取扱いを防ぐことができますので、各システムからの出力データ等の活用についてもご検討ください。



外部資金で雇用されている者が雇用経費以外の業務に従事する場合は、その業務に従事可能な経費で適切にエフォート管理をする必要があるんだね。



そのとおりじゃ。エフォートの割合は従事する業務の内容に見合った率で決めることが出来るから、まずはエフォート管理をするという意識の共有が大事じゃな。本日はこれまで。いくぞー！1、2、3、ダーッ！

※エフォートとは、全仕事時間100%に対する当該業務の実施に必要とする時間の配分割合（%）をいい、各月の給与支払総額に、月毎の各業務の従事割合を乗じて、各業務の経費毎に人件費とすることをエフォート管理という。

なお、内部監査報告書は、以下の当室ホームページに掲載しておりますので、参照ください。
【内部監査報告書】は、コチラに掲載しております↓

https://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

## お 知 ら せ

### ・監査室体制変更のお知らせ

令和４年５月１日付けで復帰しましたのでお知らせします。

監査スタッフ　　目　黒　真　衣

新体制となった監査室を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「断捨離をしてみた」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

断捨離をしてみた。
常々断捨離をしなければと思っていても、なかなか始められなかったが、
最近頻発した地震の影響で、本棚が歪み、散乱した物を戻さずに、
一時的に待避させた本の置場所で、スペース的に限界になったためである。



そう今回の断捨離の対象は本なのだが、書籍と呼べるものは少なく、
漫画コミック、文庫本、単行本類である。
処分の方法はブックオフに分散して持ち込んだのだが、
最終的に 300 冊ほどになった。
ただ、古いために値段が付かないのも多数で、引き取ってもらうだけでも良しとした。
ヤフオクやメルカリを覗いてみると、同じものが高額で出展してるのには驚いたが。

断捨離する時の、あるあるなんだろうけど、相当数は処分保留にして残している。
特に文庫本の 9 割が、特定の作者で、それが片岡義男である。
結局、70 冊以上に及ぶのだが、そのうち 10 冊ほどは、
ブックカバーが付いたまま読んでいないことに気付き、
今回全部処分保留にしてしまった。
今更ながら、20 年ぐらい前に購入した本を、読まずにいたことに驚きだが、
かつては、凄い勢いで、文庫本を集めまくったのを覚えているのだが、
考えてみれば、この間、彼の本を買っていないのだ。
調べてみると、全て絶版？になっているようだ。

断捨離の手を止めて、ページをめくると、長編よりも短編集が好きだったのを思いだし、
必ず車が登場すると、まだ SUV という言葉もなく、ステーションワゴンが多い。

せっかくなので、少し読み始めてみると、
圧倒的に細かすぎるほどの情景描写と人物観察の表現に懐かしさを覚えると共に、
スマホはもちろん携帯も無く、電話ボックスがよく登場するシチュエーションがあり、
時代背景の違いにも面白さを感じてしまう。



そういえば、最近、映画「ドライブ・マイ・カー」を観た時、
こちらは村上春樹なんだけど、なぜか片岡義男を思い出していたので、
それもあって、読みたくなったのかも知れない。

今回の断捨離で、手をつけた半分を残したのだが、
実は、それ以上の数でスポーツと車関係の雑誌類があふれている。
中でも、プロ野球写真名鑑は何十年も毎年購入し続けており、
これは完全にコレクション化している。

かつて「Number」という雑誌約 100 冊を一気に処分したことを後悔しており、
再版されない雑誌は、ある意味貴重である。

次の断捨離は、本以上に部屋のスペースを占領しまくってる洋服がターゲットにしたいが、
たまに整理すると、自宅内古着屋状態で、結局お宝発見作業になってしまう。

そういえば、最近、買った雑誌のテーマが、「捨てない生き方」だった。
物持ちがいいのも、悪くはないのかも知れない。
あらためて断捨離とは、本当に大事なものを見極める良い機会であると思った。

監査室　S

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

---

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：石垣）
022-217-5680，4880（佐々木、熊谷、齋藤、目黒、武田）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

---

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University